

# 全日本スピード 八戸で開幕

## 澤尻(八学大)女子500V

総合2位発進

全日本スピードスケート選手権大会が3日、八戸市の長根公園スケートリンクで開幕した。初日は男女500㍎、男子5000㍎、女子3000㍎の4種目を行った。県勢で唯一出場の澤尻曆里英(八戸学院大)は大会第1種目・女子500㍎の第1組で登場。序盤から快調に飛ばし、2位に1秒13差の44秒11で頂点に輝いた。3000㍎は4分53秒76で3位につけ、総合成績2位で初日を折り返した。

大会最終日の4日は男女1500㍎、男子1万㍎、女子5000㍎の4種目を行う。

(高松拓輝)



初日の500㍎を制し3000㍎も3位につけ、女子総合成績2位で折り返した澤尻(八戸学院大)

### 最後まで集中したい

○…1日まで山梨県で行われた冬季国体に、本県代表として出場した澤尻。遠征、連戦の疲れが残る中、44秒11で女子500㍎の頂点に立ったが「いつもは43秒くらい。今日の脚の状態だと仕方ないかな」と謙虚にレースを振り返った。

本職は中・長距離。3000㍎は序盤から順調にラップを刻んだが、疲

れが見え始めた中盤以降に失速し、3位に終わった。澤尻は「最後までラップを落とさなければ良い記録も見えてくる。今後の課題として受け止めたい」と前を向いた。

国体最終日に八戸市に戻り「昨日(2日)は大学のテストでした」と笑う学生スケーター。「せっかく出られた大きな大会。最後まで集中して自分の滑りをしたい」と表彰台を見据えた。